

2013年5月15日

社会保障制度改革国民会議 御中

日本生活協同組合連合会

社会保障制度改革国民会議 意見募集（法人・団体用）に対する意見内容

社会保障は、お互いに支えあい、誰でもいつでも、どこでも「安心してらせる社会」の構築のベースになるものだと考えています。現在の日本社会は急速な少子高齢化、人口減少の中、一人世帯の増加、非正規雇用労働者の増加など、家族のあり方や働き方は大きく変化し、所得格差も広がりつつあります。こうした状況の中、「安心してらせる社会」の構築のためには、どんなライフステージにあっても、くらしの展望が見出せなくてはなりません。しかし、現在の社会保障制度の基本構造は、高度経済成長期の社会状況を背景とした制度設計であり、社会の変化への対応が遅れています。

社会保障の仕組みは、国民全員で支え合うものであり、世代間連帯を基本とした皆年金・皆保険の仕組みを維持し、将来においても展望の見える持続可能な制度にしていくことが必要だと考えます。今回の社会保障・税一体改革における社会保障制度改革国民会議において、3党合意における積み残し課題に対応するだけでなく、現在の社会状況にあわせた社会保障全体の政策整理と再構築を求めます。

【基本的な考え方】

高齢化社会、格差社会進行の中で、社会保障の運営を担う政府の役割の重要性は増えています。公助の役割は、家族相互及び国民相互の助け合いの仕組みを「支援」する立場だけにとどまらず、助け合いの仕組みの基盤であることを明確にしたうえで、自助、共助、公助の適切な組み合わせを考えるべきです。

また、負担のあり方として、社会保障に係る費用をあらゆる世代が広く公平に分かち合う観点が必要ですが、社会保障に係る費用が今後も増大する状況において、主要な財源は消費税、地方消費税の収入に限定せず、その他の税負担のあり方も含めて検討するよう求めます。

【公的年金制度】

高齢者になっても安心してらせる社会に向け、高齢者の生活の糧である年金制度の持続性は重要です。しかし、年金記録の管理の不備の問題や、将来の持続可能性への不安などにより、制度そのものに対する信頼性が失われつつあります。若年層を中心とした保険料未納などの空洞化の問題や、制度が適用されない非正規雇用者の増加など、様々な問題を抱えています。

将来においても展望の見える持続可能な年金制度のために、現在の賦課方式を踏襲し、皆保険による年金制度の維持ができるよう、適切な見直しを求めます。

また、年金記録の管理の不備などに起因する問題から、国民に信頼される制度の確立を求めます。そのためにも、現在の社会保障番号制度について、メリットやデメリットなど、制度の内容を国民に広く周知した上で、議論することを求めます。

【医療・介護保険制度】

医療・介護などのサービス型給付が増え続ける中、地方公共団体をはじめとした、公助としての社会保障の役割が重要になっています。

「住み慣れた地域で、自分らしくくらし続けたい」国民の願いに応え、各地域において医療・介護サービス、日常生活支援、住まいなどが包括的に提供されることが必要です。

高齢者の「自立支援」の観点から介護サービスの質の強化をはかり、重度化防止の効果を高めることが大切です。安易な軽度者の切り捨ては、高齢者の自立支援を阻害し、重度化を招きかねません。軽度者に対しても十分な対応を求めます。

また、介護人材確保と育成に向けた施策の充実、保険者機能の強化と国・都道府県による支援強化を求めます。

さらに、見守り、配食、外出支援等の生活支援サービスの充実をはかることが求められており、様々な主体による事業化促進の施策が必要です。

【少子化対策】

子どもを安心して生み育てられる環境を整備しなければ、社会保障の持続性を確保できません。子育て分野については、昨年、待機児童問題解消のための施策など、一定の前進がありました。成長戦略の中でも、待機児童2017年度までに解消するなどの方針が打ち出されています。しかし、待機児童問題に留まらず、現在は核家族化が進行し、共働き世帯の増加する中、子育て中の親は孤立を深めており、ワーク・ライフ・バランス、子育て・両立支援など、現役層のくらしの支えを支援する幅広い施策の検討が必要です。また、教育費の自己負担の金額が高いことは、収入による格差の固定化、継承につながりかねず、教育費の費用負担の軽減に向けた更なる対策が必要です。

【雇用】

非正規雇用者が増加し続けている中で、どのような雇用形態であっても社会保険加入ができる制度が必要です。「安心してくらす社会」を実現していくためには、セーフティネットの再構築とともに、個々がおかれている状況を踏まえて自立を支援し、失敗をしても立ち直れるような社会保障の視点も加えて検討するよう求めます。

以上